

バ・コンゴ州カタラクト県コミュニティ再生支援調査

国名	コンゴ民主共和国
発注者	国際協力機構(JICA) 経済基盤開発部
事業分野	平和構築
実施期間	2008年7月から約28ヶ月間



©The World Factbook

事業の背景

コンゴ民主共和国(コンゴ民)では、長年の内戦が農業生産や雇用問題に多大な影響を及ぼし、経済が停滞、さらに基礎的インフラの未整備などがコミュニティの疲弊と貧困層の拡大を招いていました。カタラクト県では UNHCR による難民への人道支援も 2007 年 7 月に終了した状況の中で、アンゴラからの難民と地元のコング民人との和解と共存を促進しつつコミュニティを強化すること、同地域の農業生産性を向上させ生計を向上し、生活環境を改善し、さらにはコミュニティレベルでの紛争への耐性を向上させることなどが緊急の課題となっていました。

事業の内容

本調査では住民の生活改善とアンゴラ難民流入による地域負荷の削減のために、対象コミュニティを分析・類型化し、地域開発計画を策定しました。加えて、計画の一部(道路や井戸等の公共インフラの整備、収入向上のための野菜栽培技術改善のための講習等)をパイロットプロジェクトとして実施し、実証結果を計画に反映させ地域開発計画を最終化しました。

現地はアンゴラ難民、コンゴ民人、コンゴ民に定住した元アンゴラ難民等々のるつぼでしたが、彼らを分け隔てなく巻き込んで、改修した施設を管理する住民組織を設立・強化するよう協働してもらうことで、対象地域が紛争に対する耐性を高められるように協力するなど、終始紛争予防配慮という視点を意識していました。また、既存の開発計画を精査することで、このプロジェクトがコンゴ民主共和国の開発に矛盾することのないように配慮しました。



現地行政官によるワークショップの運営



道路の維持管理のための研修